

令和5年度 赤ちゃんとのおふれあい体験 実施報告書

知多市児童センター

1. 事業目的

本事業は、小学校6年生を対象に実際の赤ちゃんとふれあう中で、赤ちゃんの成長過程と親のかかわり、子育ての大変さと成長の喜び、大切に扱われている命について改めて感じ、そこから親、家族、そして自分を取り巻く周りの人の思いや、すべての命の大切さについて考える機会とします。

なお本事業は、国が乳幼児とおふれあう取り組みを児童館の取り組みとして位置づけており、市でも『知多市子ども・子育て支援事業計画』の施策として実施しています。

小学生	親子とおふれあいを通し、赤ちゃんの愛らしさや温かさ、子育ての喜びや大変さ、親への感謝の気持ち、家族との絆、命の大切さを感じる機会とします。
親	赤ちゃんと小学生とのかかわる姿を通して、わが子への愛情を再確認するとともに、自分の子どもの成長や将来をイメージします。 事業に参加することで、親になる次世代の教育を支援する、という社会参加、社会貢献に繋がっていると感じ、保護者自身の子育てに対する評価と自己肯定感を高めます。

2. 実施校・開催日等

実施校	開催日	クラス	親子人数
新田小学校	6月6日(火) 7日(水) 8日(木)	3	27組 54人
南粕谷小学校	6月16日(金)	1	9組 19人
つつじが丘小学校	6月21日(水) 22日(木)	2	20組 47人
旭北小学校	7月5日(水) 6日(木) 7日(金)	3	24組 53人
岡田小学校	9月13日(火) 14日(水) 15日(木)	3	28組 58人
新知小学校	9月20日(水) 21日(木) 22日(金)	3	27組 57人
八幡小学校	10月3日(火) 4日(水) 5日(木) 6日(金)	4	43組 94人
佐布里小学校	10月11日(水) 12日(木)	2	22組 47人
旭東小学校	10月19日(木)	1	14組 29人
旭南小学校	10月24日(火) 25日(水)	2	17組 38人

3. 内 容

(1) 事前学習

- ・体験の目的や、ふれあい時の注意事項、赤ちゃんの発達について、過去のふれあい体験の映像を見ながら学習する。



(2) ふれあい体験

- ・親子と小学生のペアを作り、入室後自己紹介をする。
- ・ペアの赤ちゃんと一緒に遊ぶ（自由遊び）。
- ・遊びの中で考えた質問をする。
- ・手遊び、大布遊びなどで一緒に遊ぶ（ふれあい遊び）。



(3) 感想記入（保護者）

- ・親が感想を記入している間、小学生が赤ちゃんと遊ぶ（リズム遊び）。
- ・小学生が親に感謝の気持ちを伝える。



(4) 後日保護者の感想を提出（児童センター）

- ・児童センターが保護者から生徒へのメッセージをまとめ、後日届けます。



4. 児童の感想より（抜粋）

- ・自分も昔はこうだったのかなと思うとお母さんはすごいなと思いました。
家に帰ったらお母さんにお礼を言います。親から世話をするのは大変だったけど、「それより楽しいことがいっぱいあった」と聞いた。
- ・みんなすごく小さくて可愛くて自分にもこんな時期があったのかあと少し感動しました。
- ・手を繋いだけど、もう手が本当に小さくてかわいいなあとと思いました。これから、どんどん大きくなっていくのかと思うと親のような気持ちになって、すくすく元気に育って行って欲しいなと思いました。
- ・赤ちゃんが泣いちゃったり、おむつ変えたり、ミルクをあげたりするのはとても大変だけど子育てをしていて、赤ちゃんの笑顔が見られるととても嬉しいなと思いました。

・私はあまり小さい頃のことはあまり覚えていないけれどどのお母さんも赤ちゃんのことをとても大切そうに抱っこしたり赤ちゃんのことを話していたので私も赤ちゃんの頃こんなふうに大切にされていたんだろうなと思いました。また家でこの体験のことを話したら「きゅうりができたとか一本橋なんてママ何百回もやってたよ」ってお父さんが言っていて嬉しくなりました！

5. 保護者からの感想 (抜粋)

・私自身も子どもの頃は赤ちゃんとふれあう機会がなかったので、子どもを産むまで赤ちゃんを抱くのも怖かったし、接し方は分かりませんでした。子育て、妊娠、出産は大変ですが、とても素敵な経験です。

・赤ちゃんの頃は、みんなのお父さんお母さんも毎日怪我をしないように、病気にならないように、気が気でならない日々を送って、本当に大切に大切に见守って来てくれたと思います。今は怒られたり、受け入れられないことがあると思いますが、みんなが今日、〇〇の事をかわいく思ってくれたような気持ちで、みんなのお父さんお母さんも思ってくれている事を忘れないで欲しいです。ありがとう。

・たくさん抱っこもしてくれて、この子に合ったおもちゃを探してきてくれて、みんなすごく上手に遊んでくれてとても嬉しかったです

6. まとめ

今年度知多市内小学校10校に、ふれあい体験に申し込んでいただき全校実施することができました。

アンケート結果(別紙)では、乳幼児への好意的な感情を持つように回答した児童の割合が、75.1%から96%に増え、会場でも赤ちゃんを「かわいい。めっちゃかわいい!」「いやされる」などの言葉が飛び交っていました。また赤ちゃんへのかかわり方を見て、自分もこのように育ててもらったのかなと親への感謝の気持ちが多くみられました。中には、赤ちゃんの姿から子育ての大変さや命の大切さも書かれている子もあり、それぞれ児童の素直な気持ちに、この事業の趣旨が十分伝わっているのではないかと感じました。

今回、全24クラス分の親子を募集するにあたり、育児休暇中の教諭や担任の家族に声をかけていただきました。学校側の協力により、定員確保に繋ぐことができました。アンケートについてもタブレットによる方法を提案していただき合理的な実施に繋がりました。

今後も色々なご意見をいただきながら、ふれあい体験事業を継続していきたいと考えています。